

## 調査研究結果

	種目	発行者	教科書名
観 点	国語	東京書籍株式会社	新編あたらしいこくご一上、新編あたらしいこくご 一下 新編新しい国語二上、新編新しい国語二下 新編新しい国語三上、新編新しい国語三下 新編新しい国語四上、新編新しい国語四下 新編新しい国語五 新編新しい国語六
取 扱 内 容	<p>○知識及び技能について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1,2学年では、昔話の読み聞かせを聞くなどして、好きな場面を友だちに教える活動や、物の名前を表す言葉を使ってしりとりをしたり、仲間分けしたりする活動を通して、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになっている。</li> <li>・第3,4学年では、身の回りにある物をローマ字で書いたり読んだりする活動や、いろいろなことわざや故事成語の意味を調べたり、使い方を考えたりする活動を通して、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになっている。</li> <li>・第5,6学年では、「竹取物語」などの古文を音読し、言葉の響きを楽しむ活動や、相手や場面に応じ敬語や改まった言葉遣いを考えたり使ったりする活動を通して、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになっている。</li> </ul> <p>○話すこと・聞くことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1,2学年では、思ったことを話したり聞いたりして話をつなぐ活動や、伝えたいことを選んで、宝物を紹介する活動を通して、順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようになっている。</li> <li>・第3,4学年では、メモを取りながら人の話を聞く活動や、司会や提案者などの役割を意識して話し合う活動を通して、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになっている。</li> <li>・第5,6学年では、インタビューをして、自分の知りたいことを相手から聞き出す活動や、学校生活をよりよくする工夫を考え、資料を使って提案する活動を通して、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようになっている。</li> </ul> <p>○書くことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1,2学年では、いろいろな乗り物について、本で調べて乗り物カードを作る活動や、家でしていることについて、友だちが分かりやすいように、文章を書く活動を通して、順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようになっている。</li> <li>・第3,4学年では、大事なことが伝わるように、案内の手紙を書く活動や、書いた文章を読み返し、よいところを確かめる活動を通して、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようになっている。</li> <li>・第5,6学年では、心の動きや出来事の様子が伝わるように、表現を工夫して短歌を作る活動や、論の進め方を工夫して、提案書を書く活動を通して、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになっている。</li> </ul> <p>○読むことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1,2学年では、物語を読んで、好きなところを見付ける活動や、どんな順序で説明されているかを考えて読む活動を通して、言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語</li> </ul>		

	<p>を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養えるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3,4学年では、物語を読んで、中心人物の行動や気持ちについて、考えたことを伝え合う活動や、文章を読んで目的に合わせて要約し、紹介する活動を通して、言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養えるようになっている。</li> <li>・第5,6学年では、伝記を読んで、生き方について考えたことを感想文にまとめる活動や、文章を読んで、意見や感想を伝え合い、自分の考えを広げる活動を通して、言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養えるようになっている。</li> </ul> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第1,2学年では、「ことばの力」や「学しゅうのながれ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物の様子を思い浮かべながら音読したり、自分の知っていることを結び付けて文章を読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第3,4学年では、「言葉の力」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物の性格について、想像したことを伝え合ったり、自分の体験と結び付けて筆者の考えを捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第5,6学年では、「言葉の力」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、物語の組み立てや山場での登場人物の気持ちの変化について、考えたことを伝え合ったり、複数の文章を関係づけて読み、分かったことを整理したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>
<p>内容の構成・排列</p>	<p>○内容の構成・排列については、第1,2学年では、第1学年で、登場人物の設定を考えながら物語を書く活動、第2学年で、絵を見て場面のつながりを考えながら物語を書く活動を取り扱うなど、第3,4学年では、第3学年で、登場人物の様子や場面を想像して音読で表す活動、第4学年で、登場人物の気持ちを想像して音読で表す活動を取り扱うなど、第5,6学年では、第5学年で、意図を明確にして計画的に話し合い、考えを広げる活動、第6学年で、自分の立場を明確して話し合い、考えを広げる活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>また、北海道にかかわりのある内容については、「漢字を使おう2」（第5学年）で、習った漢字を使って北海道を紹介する文章を書く活動が取り上げられている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○伝えたいことが相手に伝わるように、工夫して話す活動（第4学年）や相手や目的に応じて情報を集め、パンフレットを作る活動（第6学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、読書に親しむ習慣や態度を育むため、読書単元「本は友達」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「言葉の力を集めよう」では、当該学年で学習する単元と「言葉の力」を示したり（第2～6学年）、「言葉の力のつながり」で「言葉の力」の系統表を示したり（第3～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○動画や音声、デジタルノートなどの学習に役立つ資料が、巻末の「デジタル資料を活用しよう」にまとめられている。</p> <p>○独自開発の教科書体を中心に、文字の小さな箇所にはUDフォントを使用したり（全学年）、紙面内の文字や図版などの区別を明確にし、配置や色使いを工夫したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、単元導入の動画やアニメーション、「話すこと・聞くこと」のモデル動画等を活用できるようにする（第2～6学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

## 調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	国語	教育出版株式会社	ひろがることばしょうがくこくご一上ひろがることばしょうがくこくご一下 ひろがることば小学国語二上、ひろがることば小学国語二下 ひろがる言葉小学国語三上、ひろがる言葉小学国語三下 ひろがる言葉小学国語四上、ひろがる言葉小学国語四下 ひろがる言葉小学国語五上、ひろがる言葉小学国語五下 ひろがる言葉小学国語六上、ひろがる言葉小学国語六下
取 扱 内 容	<p>○知識及び技能について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1,2学年では、昔話などの読み聞かせを聞いて面白いと思ったところを発表する活動や、言葉探しゲームで似た意味の言葉をまとめる活動を通して、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになっている。</li> <li>・第3,4学年では、日常使われている簡単な単語についてローマ字で読んだり書いたりする活動や、故事成語などの意味を調べてカードを作り、相手に紹介する活動を通して、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになっている。</li> <li>・第5,6学年では、相手や場面に応じて敬語を使う活動や、「枕草子」などの古典を音読して、昔の人のもの見方や感じ方を知る活動を通して、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになっている。</li> </ul> <p>○話すこと・聞くことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1,2学年の思考力、判断力、表現力等の内容については、話す事柄の順序に気を付けながら発表する活動や、質問したり答えたりしてつないで話し合う活動を通して、順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようになっている。</li> <li>・第3,4学年では、調べたことを資料にまとめて大事なことが伝わるように発表する活動や、役割に気を付けながら話し合う活動を通して、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになっている。</li> <li>・第5,6学年では、資料を使って効果的に発表する活動や、地域の防災について、パネルディスカッションにおいて立場を明確にして話し合う活動を通して、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようになっている。</li> </ul> <p>○書くことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1,2学年では、写真を見て想像してことを基に物語を書く活動や、身の回りの生き物について調べてわかったことを基に生き物クイズカードを作る活動を通して、順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようになっている。</li> <li>・第3,4学年では、見学したり調べたりしたことをまとめて報告するリーフレットを作る活動や、想像したことを基に、設定や展開を考えながら物語を書く活動を通して、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになっている。</li> <li>・第5,6学年では、構成や表現を工夫したポスターを作る活動や、文章全体の展開を工夫して物語を書く活動を通して、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようになっている。</li> </ul> <p>○読むことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1,2学年では、文章と絵を結び付けて読むことのよさについて考えたことを伝え合う活動や、あらすじや心に残ったところなどをまとめて紹介する活動を通して、言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養えるようになっている。</li> </ul>		

	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3,4学年では、文章を読んで考えたことをまとめる活動や、登場人物の性格や気持ちの移り変わりについて分かったことを伝え合う活動を通して、言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養えるようになっている。</li> <li>・第5,6学年では、事例と解説を基に筆者の考えについて読み取る活動や、伝記を読んで生き方について、自分の考えをまとめる活動を通して、言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養えるようになっている。</li> </ul> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、第1,2学年では、「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物が考えていたことを想像しながら読んだり、説明の順序に気を付けて内容の大体を捉えて読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第3,4学年では、「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物の気持ちの変化について想像しながら読んだり、大事な言葉や文に気を付けて要約しながら読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第5,6学年では、「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、物語に使われている表現の工夫について考えながら読んだり、筆者の論の進め方についてまとめたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>
<p>内容の構成・排列</p>	<p>○内容の構成・排列については、第1,2学年では、第1学年で、身の回りの生き物を友達に知らせる文章を書く活動、第2学年で、身の回りで見つけたものを友達に知らせる文章を書く活動を取り扱うなど、第3,4学年では、第3学年で、自分の気持ちが相手に伝わるように礼状を書く活動、第4学年で、送る相手や伝える目的に合わせた手紙や電子メールを書く活動を取り扱うなど、第5,6学年では、第5学年で、意図をもって話を聞いたことを基に考えたことをまとめる活動、第6学年で、相手の思いを考えながら聞き、感想を伝え合う活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>また、北海道や胆振にかかわりのある内容については、『雪は新しいエネルギー - 未来へつなぐエネルギー社会』（第6学年）では、雪国とエネルギー社会の在り方について取り上げられている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○人の話を聞いて、初めて知ったことを友達に伝える活動（第1学年）や写真や図表を効果的に使い、読む人の興味を引く図鑑を作る活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、多様なテーマの図書を紹介した「読書の広場」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「ひろがる言葉」でどのような内容を学び、どのような言葉の力を身に付けるのかを示したり（全学年）、各単元で言語活動の具体的な場面をイラストや図版で示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○読むこと教材では、「言葉をふやそう」という学習が設けられており、読み物単元で学習した言葉を日常生活で生かせるような工夫がなされている。</p> <p>○教科書体を基本としながら、UDに配慮したオリジナルフォント（全学年）は大きくて読みやすく、色調のバランスや形の上で区別しやすいようカラーUDにも配慮（全学年）されている。1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、児童作品例の別バージョンや補完版、資料画像等を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	国語	光村図書出版株式会社	こくご一上 かぎぐるま、こくご一下 ともだち こくご二上 たんぼぼ、こくご二下 赤とんぼ 国語三上 わかば、国語三下 あおぞら 国語四上 かがやき、国語四下 はばたき 国語 五 銀河 国語 六 創造
取 扱 内 容	<p>○知識及び技能について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1,2 学年で、昔話の読み聞かせを聞いて面白かったところや出来事について感想を伝え合う活動や、様子を表す言葉やたとえを使って文を作る活動を通して、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになっていく。</li> <li>・第 3,4 学年では、身の回りで使われている簡単な単語についてローマ字で書いたり読んだりする活動や、短歌や俳句を言葉の響きを楽しみながら音読する活動を通して、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになっていく。</li> <li>・第 5,6 学年では、「竹取物語」や「平家物語」などの古文の様子を想像しながら音読する活動や、日常よく使われる敬語に使い慣れる活動を通して、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになっていく。</li> </ul> <p>○話すこと・聞くことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1,2 学年では、友達と相談しながら問題を作ってクイズを出し合う活動や、相手の考えを引き出す質問をし合う活動を通して、順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようになっていく。</li> <li>・第 3,4 学年では、質問しながら友達の話の詳細を聞く活動や、学級全体で話し合いの議題を決め、役割を意識しながら話し合う活動を通して、筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになっていく。</li> <li>・第 5,6 学年では、意図が伝わるように質問したり、それに答えたりする活動や、質問して考えを広げ、問題点や改善点を明らかにして考えをまとめたりする活動を通して、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようになっていく。</li> </ul> <p>○書くことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1,2 学年では、知らせたいことを明確にして手紙を書く活動や、観察したことを記録する文章を書く活動を通して、順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようになっていく。</li> <li>・第 3,4 学年では、身の回りの仕事取材してレポートにまとめる活動や、災害への備えに対する自分の考えを書く活動を通して、筋道立てて考える力や豊かに感じたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分や考えを広げることができるようになっていく。</li> <li>・第 5,6 学年では、考えが伝わるように書き方を工夫して意見文を書く活動や、相手や目的を考えて引用したり図表を用いたりしてパンフレットを作る活動をして、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになっていく。</li> </ul> <p>○読むことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1,2 学年では、役割を決めて音読したり演じたりする活動や、獣医の仕事の説明する文章を読んで考えたことを伝え合う活動を通して、言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養えるようになっていく。</li> <li>・第 3,4 学年では、文章を読んで考えたことをまとめ、伝え合う活動や、登場人物の気持ちの変化について考えをまとめ、交流する活動を通して、言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養えるようになっていく。</li> </ul>		

	<p>・第5,6学年では、文章の要旨を捉え、考えたことを伝え合う活動や、構成や表現に着目し、作品の世界を想像しながら読む活動を通して、言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養えるようになっていく。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元毎に設けられた「がくしゅう（第1,2学年）」及び「学習（第3,4,5,6学年）」において学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、第1,2学年では、場面や登場人物の様子を想像しながら読んだり、文章を読んで分かったことを伝え合い、関連する本を選んで読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動、第3,4学年では、筆者の説明の仕方の工夫を見付けながら読んで考えたことを伝え合ったり、物語を読んで登場人物の気持ちの移り変わりについて考えたことを伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動、第5,6学年では、文章と図表やグラフ、写真などを結び付けながら読んだり、複数の文章を読んで、それぞれの特徴について考えたことを伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動を取り上げている。</p>
<p>内容の構成・排列</p>	<p>○内容の構成・配列については、第1,2学年では、第1学年で、学校で見つけたものを知らせる文章を書く活動、第2学年で、町の中で見つけたもののよさを知らせる文章を書く活動を取り扱うなど、第3,4学年では、第3学年で、相手に必要なことが伝わるように行事を案内する手紙を書く活動、第4学年で、相手に気持ちが伝わるように礼状を書く活動を取り扱うなど、第5,6学年では、第5学年で、特定の立場に立って意見を述べ合う活動、第6学年で、様々な考え方を聞いて自分の考えを広げたり深めたりする活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</p> <p>また、北海道にかかわりのある内容については、「知里幸恵物語」（第5学年）でアイヌについて取り上げられている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○夏休みの出来事を友達に知らせる活動（第1学年）や知らせたいことが読む人に伝わるよう工夫して新聞を作る活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、図書館の活用方法や多様なジャンルの読み物を紹介した「本は友達」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○巻頭の「国語の学びを見わたそう」で学習の進め方や該当学年で学ぶ言葉の力を示したり（第2～6学年）、単元毎の「見通しをもとう」で学習過程を明確にしたり（第2～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」及び「読むこと」に関する手引きでは、どこを、どう読み、何が大切なのが直感的に分かる紙面レイアウトにすることで、全ての児童に使いやすく、分かりやすく学習することができるよう工夫されている。</p> <p>○自社作成の教科書体や着目させたい箇所及び文字の小さな箇所などにUD書体を使用したり（全学年）、複数の情報の識別が必要な図版の色の組み合わせや色調に配慮したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、発表や話し合いなどの動画資料、作家へのインタビュー等を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	